

関係各位



センチュリー・システムズ株式会社
代表取締役 田中 邁

PoE 給電に対応した IoT ゲートウェイ FutureNet MA-E395/KL 発表のご案内

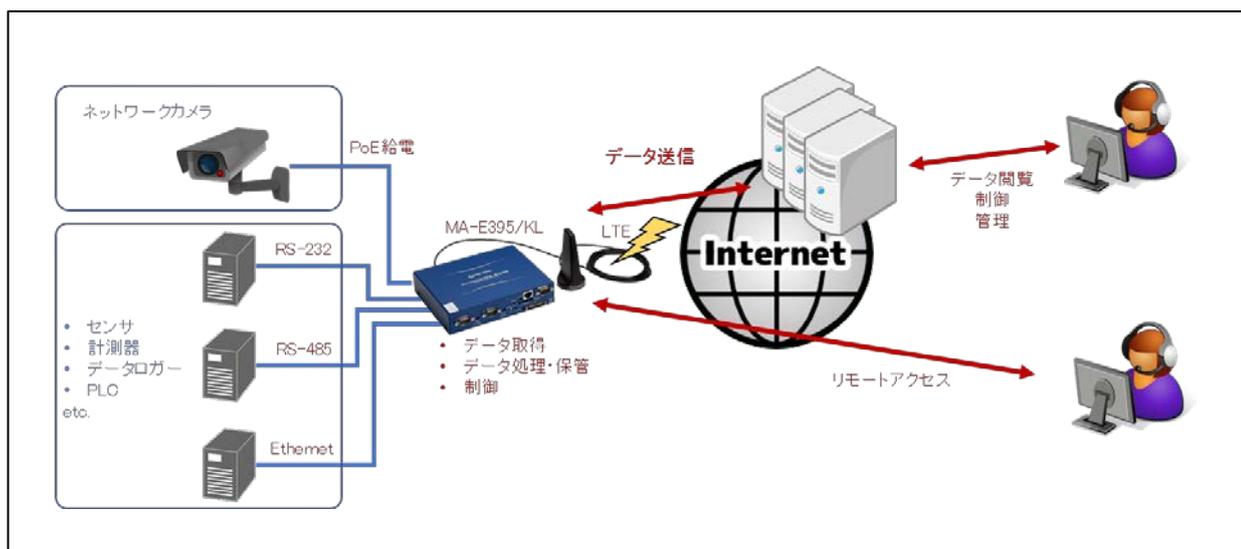
センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)は、IoT や産業用途向けに多様なインタフェースと通信機能を搭載した Linux マイクロサーバである「FutureNet MA-E300 シリーズ」に PoE 給電に対応したモデル FutureNet MA-E395/KL をラインナップとして追加します。

FutureNet MA-E395/KL は通常の Ethernet ポートのほかに IEEE802.3af 対応の PoE ポートを搭載しており、ネットワークカメラなどに最大 15.4W の電源を供給することができます。LTE 対応通信モジュール、RS-232、RS-485 も搭載しておりますので各種センサの情報収集とネットワークカメラを同時に利用するような場合でも、PoE スイッチや PoE インjekターを準備する必要なく、FutureNet MA-E395/KL だけで対応することができます。

また、ソフトウェアにより PoE 給電を ON/OFF させることができます。

ユーザ自身が、Linux 上から、ネットワークカメラや無線 LAN 装置等の PoE 装置を、遠隔地から手動で電源を OFF/ON することができるほか、異常時に自動的に電源 OFF/ON するようなソフトウェアをユーザが自由に作りこむことができます。

/// FutureNet MA-E395/KL を利用したシステム構成のイメージ ///



製品名		FutureNet MA-E395/KL	
CPU		TI Sitara AM3352 (ARM Cortex-A8 core) 内部動作周波数: 1GHz (300MHz~1GHz 動的切り替え対応)	
メモリ		NAND FLASH: SLC NAND FLASH MEMORY (512MByte) DRAM: DDR3-SDRAM (1Gbyte) Serial NOR FLASH: SPI FLASH MEMORY (Boot device) (2Mbyte)	
インタフェース	イーサネットポート	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 2 ポート (RJ45)	
	PoE ポート	10BASE-T/100BASE-TX × 1 ポート (RJ45) PSE(電源給電 ON/OFF 可能) IEEE802.3af (最大出力電力: 15.4W)	
	シリアルポート	RS-232 × 2 ポート (D-Sub 9ピン オス) RS-485 × 1 ポート (D-Sub 9ピン メス)	
	SD カード・スロット	SDHC 対応 SD メモリカード × 1 スロット	
	コンソールポート	RS-232 × 1 ポート (D-Sub 9ピン オス)	
	モバイル無線通信モジュール		KDDI KYM12 LTE 通信モジュール
			標準 SIM カードスロット × 1 (Micro-SIM, Nano-SIM はアダプタで変換)
		LTE Band18	
		LTE 最大転送速度: 下り: 75Mbit/s / 上り: 25Mbit/s (理論最大値)	
	アンテナコネクタ (SMA) × 2		
基本ソフトウェア	OS	Linux (Ubuntu18.04 ベース)	
	主な機能	IPv4 ルーティング、スタティックルート設定、PPPoE 対応、DHCP サーバ/クライアント NTP サーバ/クライアント、QoS (優先制御、帯域制御)、DNS クライアント、iptables シェルによるコマンド操作 (ログイン時認証可能)、GRE トンネリング、syslog	
カレンダー機能	リアルタイムクロック	I2C RTC デバイス	
	バックアップ電源	3V リチウム電池	
表示機能 (LED)		POWER、STATUS 1~3、ETHER0/1、PoE、ANT I、ANT II、MOBILE	
スイッチ		INIT スイッチ、CONFIG スイッチ (モード設定用 4bit DIP スイッチ) RS-485 モードスイッチ (モード設定用 4bit DIP スイッチ)	
外形寸法 (突起物除く)		W195.0mm x D120.0mm x H47.5mm	
質量 (本体のみ)		約 1.1kg 以下	
電源	入力電圧	DC12V ±10%	
	絶縁方式	絶縁型 DC/DC 電源	
	絶縁耐圧	DC500V	
	消費電力 (DC12V / 最大)	PoE 使用時: 約 24.8W PoE 非使用時: 約 8.2W	
	電源コネクタ	DC ジャック (内径 φ2.1mm、外径 φ5.5mm)	
	バックアップ電源	カレンダー機能用リチウム電池 (ソケット式)	
環境条件	動作環境	温度: -20°C ~ +50°C (CPU 1GHz/Ethernet 100Base-T 使用時) 温度: -20°C ~ +40°C (CPU 1GHz/Ethernet 1000Base-T 使用時)	
		湿度: 10% ~ 90% (結露なきこと)	
	保存環境	温度: -20°C ~ +60°C	
		湿度: 10% ~ 90% (結露なきこと)	
冷却方式	自然空冷		
規制・認証	電波規制	VCCI Class A	
	静電気放電イミュニティ	IEC 61000-4-2 (JIS C61000-4-2) レベル 2	
	放射無線周波数電磁界イミュニティ	IEC 61000-4-3 (JIS C61000-4-3) レベル 2	
	電氣的ファストランジェント/バーストイミュニティ	IEC 61000-4-4 (JIS C61000-4-4) レベル 2	
	サージイミュニティ	IEC 61000-4-5 (JIS C61000-4-5) レベル 2	

製品名	FutureNet MA-E395/KL
伝導妨害イミュニティ	IEC 61000-4-6 (JIS C61000-4-6) レベル 2

※これらの仕様は予告なく変更されることがあります。

/// 価格、販売等 ///

■ FutureNet MA-E395/KL

価格：オープンプライス

販売開始：2019 年秋頃

■ FutureNet MA-E395/KL 添付品等

標準添付：

- 製品保証書
- AC アダプタセット
- nanoSIM アダプタ

オプション(別売)：

- SD メモリカード(2GB、4GB、8GB、16GB)
- 外付けアンテナ

※ モバイル通信をおこなう際には外付けアンテナ(別売)と回線契約が別途必要です。
 外付けアンテナは用途(室内利用、屋外利用等)に応じて各種の製品が選択できます。
 製品、外付けアンテナのご購入、およびモバイル回線のご契約については弊社もしくは弊社代理店様
 にお問い合わせください。

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発等ネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発を行う開発会社です。FutureNet®ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス(WarpLink®)の提供をしています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイ等の装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供等で幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14 穴戸ビル
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容 : ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合わせ先

FutureNet MA-E395/KL に関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール press-release@centurysys.co.jp

ホームページ <https://www.centurysys.co.jp/>

以上、新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

- ・ 「FutureNet®」、「WarpLink®」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。
- ・ その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。